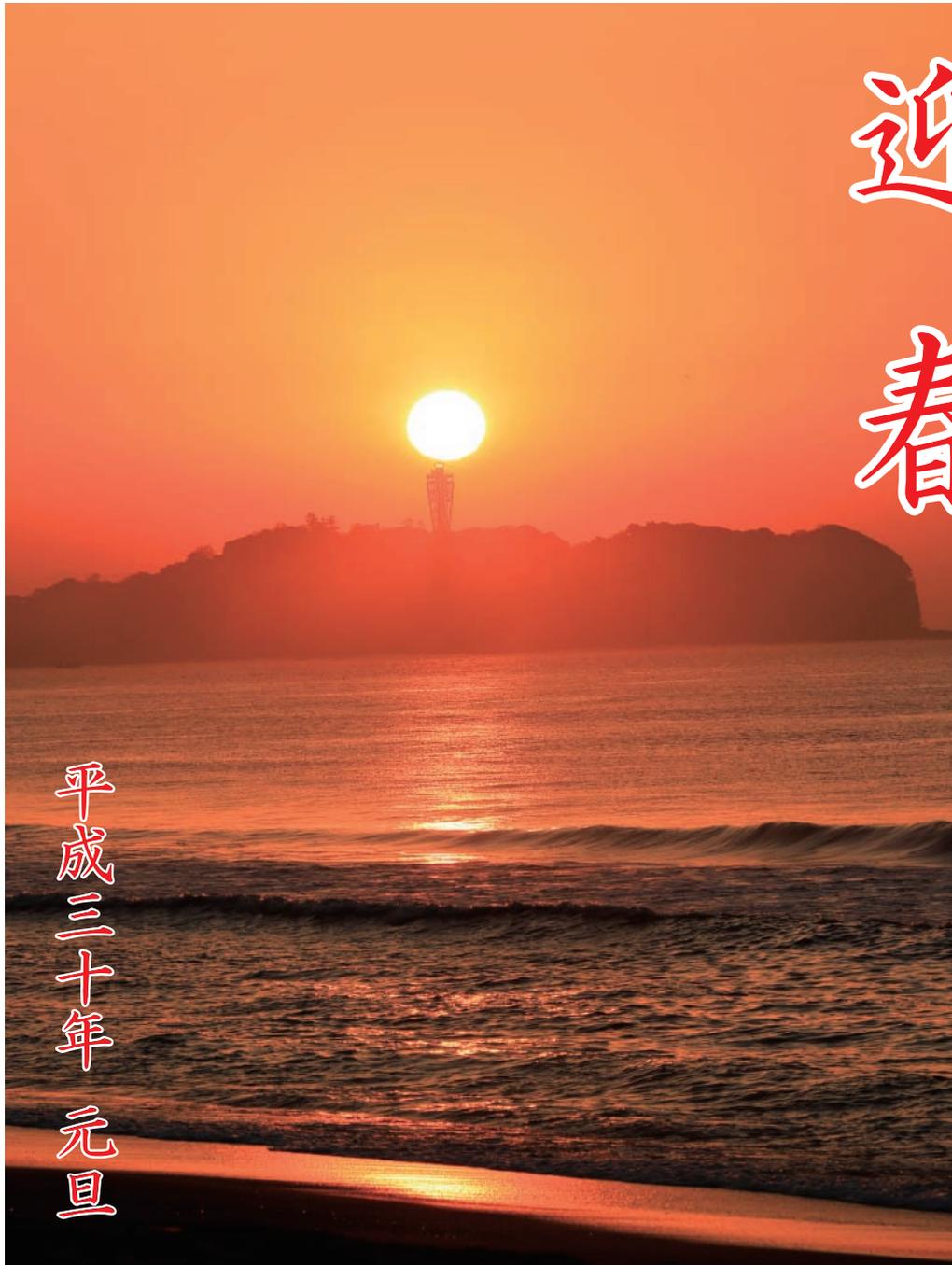


平成30年 1月 4日

第310号

〔発行〕 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部  
支部長 J X 金属株式会社 倉見工場  
編集 藤沢支部広報委員会  
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>



迎春

平成三十年元旦

「ダイヤモンドキャンドル（江の島）撮影：井上 道雄氏」

〔平成29年度 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン〕

思いやりの精神で、働く人の健康と家族に  
安心をもたらす職場をつくろう！



# 年頭にあたって

(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部  
支部長 加藤 哲



新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。日頃より労働災害防止活動に大変ご尽力いただいている会員事業場の皆様、当支部の運営にご指導、ご支援をいただいている関係行政機関ならびに関係団体の皆様には厚く御礼申し上げます。平成30年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

当藤沢支部は「思いやりの精神で、働く人の健康と家族に安心をもたらす職場をつくろう!」をスローガンとして、働く人だけでなく、家族全員が安心して生活できる災害のない健康的な職場づくりを目指して活動を推進しております。

ご存知のとおり平成29年度は、平成25年度から始まった「第12次労働災害防止計画」の最終年度にあたり、各企業の皆様には労働災害発生の減少に全力で取り組んでいただいております。

そして、平成30年度はこの結果を受け、新たに「第13次労働災害防止計画」が始まります。死亡事故の撲滅、過労死等の防止、就業構造の変化対策の促進、傷病を抱える労働者等の健康確保対策、化学物質等による健康障害防止対策、企業トップをはじめとする業界単位での安全衛生の取り組み強化、人材育成、安全・健康意識の高揚等に向けての取り組みになるうかと思っております。

また、社会問題となっている長時間労働問題は、その削減が喫緊の課題です。各企業におい

ては、「働き方の見直し」を進め、ワークライフバランスのとれた職場環境作りが重要となっております。労使双方が協力して改革に取り組んでいなくてはなりません。

藤沢支部の各委員会活動は活発な状況が続いており、県内12支部の中でも常に高評価を受けております。これは会員事業場皆様のご協力や各委員会の役員及び事務局の運営努力があつての賜物です。あらためて感謝申し上げます。また、25年振りの横浜開催となる本年10月の『第77回全国産業安全衛生大会 in 横浜』には、皆様のご協力、ご参加を宜しくお願いいたします。

本年も、藤沢労働基準監督署及び協会本部のご指導ご鞭撻を賜りながら、支部活動を充実させてまいります。会員事業場並びに支部役員の皆様には、引き続きご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に、本年が会員皆様にとって安心、安全で災害ゼロの素晴らしい年となりますように、また、各社社業のご繁栄をご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。ご安全に。



## 賀詞交歓会 開催のご案内

賀詞交歓会は経営者セミナーと併せて開催します。

開催日時 : 平成30年1月18日(木)

場 所 : 藤沢商工会議所(ミナパーク)6階

スケジュール : 経営者セミナー 14:00~16:55 多目的ホール1、2

賀詞交歓会 17:00~18:30 多目的ホール3

基調講演 : テーマ「労働基準行政をめぐる最近の状況」~働き過ぎ防止のための取組~

神奈川労働局安全課長 原田 聡氏

特別講演 : テーマ「心の糧になる音楽を」~愛のサウンドを広めて~

ギターオーケストラ指揮者 新堀学園理事長 新堀 寛己氏

参加費 : 【経営者セミナーのみ:無料】、【賀詞交歓会:7,000円/人】



# 新年を迎えて

藤沢労働基準監督署

署長 鹿島 俊樹



新年明けましておめでとうございます。  
神奈川労務安全衛生協会藤沢支部会員の皆様には、穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、本年の労働行政の最大の課題は、やはり、働き方改革であると思います。

働き方改革については、昨年3月28日に政府の働き方改革実現会議で「働き方改革実行計画」が決定されました。この計画は、同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善 賃金引上げと労働生産性向上 罰則付き時間外労働の上限規制の導入など長時間労働の是正 柔軟な働き方がしやすい環境整備 女性・若者の人材育成など活躍しやすい環境整備 病気の治療と仕事の両立 子育て・介護等と仕事の両立、障害者の就労 雇用吸収力、付加価値の高い産業への転職・再就職支援 誰にでもチャンスがある教育環境の整備 高齢者の就業促進 外国人材の受け入れを行い、労働制度の抜本的改革を実現しようというものです。

これらの改革は相互に密接に関連しており、どれも重要なのですが、皆様の関心が一番深いと思われる長時間労働の是正については、次のような状況となっています。

この働き方改革実現計画を受け、労働基準法の改正の準備が進められ、このための法律案要綱が公労使で構成する厚生労働大臣の諮

問機関である労働政策審議会で審議された結果、おおむね妥当という答申が行われました。この要綱の内容は、時間外労働の上限について「月45時間、年360時間を原則とし、臨時的な特別な事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満（休日労働含む）、複数月平均80時間（休日労働含む）を限度に設定する」というものです。

本年は、長時間労働の是正などの働き方改革に関する施策が強力に推進される年となると思いますが、会員事業場におかれましても労務管理の根本的な改革が必要になることも考えられ、事業主や担当者の方は大変なご苦労をされることもあるかもしれません。しかし、このようなときこそ、神奈川労務安全衛生協会のような場で、情報を共有し、みんなで考えるといった活動が真価を発揮するのではないかと思います。

最後になりましたが、貴会及び会員事業場の益々のご発展と本年の皆様のご多幸を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 〔当面の支部行事予定〕

経営者セミナー	1月18日(木)	会場：藤沢商工会議所 6階
安全祈願・賀詞交歓会	1月18日(木)	会場：鎌倉八幡宮・藤沢商工会議所 6階
粉じん作業特別教育	1月26日(金)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
健康づくり研究会	2月1日(木)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
KYT講習会 第2回	2月2日(金)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
職長教育 第5回	2月14日(水)・15日(木)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
労務管理実務研修会	2月21日(水)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
フォークリフト運転従事者安全衛生教育	2月28日(水)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室

# 安・健・快 雑感

新明和工業(株) 島田 幸夫

前309号「編集後記」に引続き、本号は「安・健・快・雑感」へ寄稿する機会を得た。広報委員としての特権であると同時に責任とプレッシャーもある。しかし、共に原稿の内容に自由度があり、寄稿する者としては嫌いではない。まして「雑感」は、まとまりの無い感想を述べて良いのだから。

タイトルの「安」は、やすらか・危険でない・安全・安寧等、良いイメージが浮かぶ。私は安全衛生をメインに業務を行っており、10年程前になるが安全監査の名目で弊社海外生産拠点のタイへ行った時のまとまりの無い感想を述べたい。

2日間の安全監査の終盤になり、急遽、工場の責任者20名程を集め、「安全への思い」を話すよう依頼を受けた。勿論、通訳を介して話す状況からすれば、私の引出しの中の内容でもよかった。しかし、その時はいつもと違うパターンにしよう

と思った。あえてテーマにするならば「自分が怪我をしたら誰が一番悲しむのか」。生まれた国が違い、話す言葉も違う。まして生活環境も全く違う。当然我が国の労働安全衛生法は適用されない。普段の安全衛生の内容では共感が得られないように感じたからである。自分が怪我をしたら誰が一番悲しむのか。人それぞれ思い浮かぶ顔は違っても、決してそのような事を起こしてはならないと思う気持ちは誰でも同じではないか。

労働安全衛生法の精神(心)は第1条にあると聞いたことがある。危害防止基準の確立・責任体制の明確化・自主的安全活動の推進等、安全衛生の目的を示しているが、いかに労使が共感できるキーワードを持って安全衛生活動を行うべきか。1時間程の内容は始終「精神論」に徹した。この時、私自身安全衛生に関わり始めた頃の志を思い出した。

## 第76回 全国産業安全衛生大会開催される

第76回全国産業安全衛生大会が神戸市で11月8日から10日までの3日間開催され、全国から約12,200人が参加しました。今回のテーマは、開港150年を迎えて日本の新たな時代の扉を開いてきた国際都市として「安全・健康の未来を拓こう 神戸から」となったそうです。

初日は、ワールド記念ホールで総合集会が行われ、厚生労働省や兵庫県知事・神戸市長など来賓の方々からの祝辞、平成29年度緑十字賞表彰式(受賞者90名)を始め、講演会として厚生労働省労働基準局や、特別講演として「網膜再生医療の開発」～研究開発におけるリーダーシップ～として理化学研究所の高橋氏から実施され先端医療に当たってのリーダーシップとご苦労を講演いただきました。翌日からの2日間は、ポートアイランド内各会場で12の分科会が開催され、各会場共に立ち見がでるほど盛況で、報告や質問も多くあり、聴講者ともに活発でした。個人的には姫路城の修復を無災害・無事故で成しえた報告は国宝を次の世代にちゃんと引き継いでいく熱いメッセージに感動しました。この報告会も満場でした。

本年は横浜です。全国からの来客者に感動を与えられる大会にしたいですね。神奈川労務安全衛生協会の総力で頑張りましょう。

三菱電機(株)鎌倉 井上

### ◆緑十字賞おめでとうございます◆ 労働安全衛生コンサルタント秋谷泰男氏が受賞

松下電池工業(株)にて、1980年4月から安全衛生業務を担当、その後、茅ヶ崎地区人事センターで安全衛生課長、専任安全管理者として、2004年6月まで約24年間にわたり、事業場の安全衛生管理業務遂行に尽力されました。この間、2001年リスクアセスメントを導入、労働災害防止に取組み、休業災害ゼロを継続し、また、労働衛生対策(有害物質の鉛、マンガン等)に対する作業環境改善および作業教育等にご尽力され、職場作業環境向上に貢献されました。2005年5月から2011年3月まで約6年間、国立大学法人東京工業大学大学院総合理工学科に勤務(常勤期間職員)し、安全衛生管理の全般について、委員会運営、職場巡視、安全衛生研修などをを行い、法人化直後の活動基盤づくりに貢献された。



また、1996年4月から2004年6月まで神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の役員として、2004年6月からは同・藤沢支部の安全衛生関係の講習会講師として、協会の活動に貢献された。

## 平成29年度 神奈川労務安全衛生大会開催される

平成29年10月19日(木)「川崎市教育文化会館」にて平成29年度神奈川労務安全衛生大会が開催されました。



第一部表彰式では藤沢支部からは5名の方が労務安全衛生功労賞を受賞されました。長年にわたる安全衛生活動への功績が認められ、心よりお祝い申し上げます。また支部別安全競争では藤沢支部は準優勝となりました。これは日頃から会員事業所のみならず労働災害統計票の提出にご協力いただいている賜物です。

第二部では順天堂大学特任教授、奥平康様による特別講演「免疫と長生き - 不良長寿のすすめ -」が行われました。ご本人の専門である免疫の重要性について、様々な事例、切り口から分かりやすくお話いただきました。

《左側から(敬称略)》

高橋 明彦 TOTO(株)茅ヶ崎工場/山口 稔 敷島製パン(株)バスコ湘南工場  
阿諏訪直樹 (株)湘南ユニテック/三宅 紀秀 神鋼溶接サービス(株)  
平木 資広 トビー工業(株)神奈川製造所

## 〔編集後記〕

昨年の4月、異動により勤務地が東京・日本橋から大船に移り早や半年が過ぎました。約10年振りの工場勤務ですがこれまでのキャリアとは全く無縁の業務であり、今でも戸惑いと不安が先立った気持ちで過ごしています。その様な毎日の中で、この度、労務安全衛生協会藤沢支部広報委員として、支部報藤沢の編集後記に初めて寄稿する機会が巡ってきて、さて、いったいどの様な内容を原稿とすべきか色々悩んだ挙句、ここ大船の勤務に伴い29年振りに生まれ育った横浜市へ戻って生活を始めたことについて寄稿することにします。

私が横浜市を離れたのは、丁度、バブル経済が膨らみつつあった賑やかな頃の1988年で大学卒業後に就職した時でした。その後、結婚を機に千葉市に居住し、以降、横浜には年に数回、

実家へ戻る程度が続いていましたが、昨年4月から横浜での生活を再開し、休日となれば学生時代の懐かしい場所へ昔の面影を頼りに巡ってみては、この29年間で横浜市の変貌振りに驚きと違いを楽しんでいます。特に、桜木町駅周辺は1989年に横浜博覧会の会場となった後、みなとみらい(MM21)地区となり、また首都高速湾岸線や港を跨ぐベイブリッジなどなどスケールの大きい変化は驚くばかりです。一方、氷川丸、マリントワーのある山下公園やいちよ並木、港の見える丘公園、そして元町や中華街は昔の記憶のままの風景が多く感慨があります。皆様にもそれぞれ思い出の街があると思いますが、懐かしい街の変化を見つけに再訪してみると心が癒される機会になるのではないのでしょうか。 デンカ(株)大船工場 森